

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 用語及び定義	1
3 標準使用条件	2

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づき、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権及び出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限る）の 設計上の標準使用期間を設定するための標準使用条件

Standard use conditions for cathode-ray-tubes type receivers for television
broadcast transmissions to predetermine design standard use period

序文

2007年11月21日の消費生活用製品安全法改正（2009年4月1日施行）によって導入された長期使用製品安全点検制度の対象とはならないものの、長期にわたって使用される製品について、消費者などに長期使用時の注意喚起を促す表示を義務付ける長期使用製品安全表示制度が導入された。テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限る。）は長期使用製品安全表示制度の対象とされ、具体的には、電気用品の技術上の基準を定める省令別表第八 2. (94) “ヌ 経年劣化に係る注意喚起のための表示” に表示項目が規定された。

この規格は、表示項目のうち（ロ）項で規定される設計上の標準使用期間を設定するための標準使用条件を定めたものである。

1 適用範囲

この規格は、テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限る。）の設計上の標準使用期間を設定するための標準使用条件について規定する。

2 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。

2.1

テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限る。）

電気用品安全法施行令別表第二 一〇 (9) に掲げるテレビジョン受信機（産業用テレビジョン受信機を除く。）であって、ブラウン管のものに限る。

2.2

設計上の標準使用期間

製造年を始期として、使用環境、使用条件及び使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算出された数値に基づき、経年劣化による発火・けがなどにより安全上支障が生じるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間（年数で表す。）。

なお、製品の主要部品と同様のものを使用している製品に関する科学的試験の結果算出されたデータを保有している場合には、そのデータ・部品の仕様に基づいて合理的に算出された数値をもって算定することができる。

2.3

標準使用条件

製造事業者又は輸入事業者が設定する製品の設計上の標準使用期間を設定するための環境条件，動作条件，設置条件及び想定時間。

2.4

環境条件

製品を使用する温度，湿度（相対湿度）などの条件。

2.5

動作条件

製品を使用する入力信号，画質調整などの条件。

2.6

設置条件

製品を使用する標準的な設置状態。

2.7

想定時間

標準的な使用時間。

3 標準使用条件

テレビジョン受信機（ブラウン管のものに限る。）の設計上の標準使用期間を設定するために，ユーザが製品を利用する前提条件として，表 1 の標準使用条件を用いる。

表 1—標準使用条件

環境条件	電圧	単相 100 V	JIS C 6101-1 の 3.1 参照
	周波数	50 Hz 及び／又は 60 Hz	
	温度	20 °C	
	湿度	65 %	
動作条件	入力信号	映像信号は、カラーバー (75/0/75/0) 信号を表示	JIS C 6101-1 の 3.2.1 参照
		音声信号は、1 kHz 正弦波信号とする。	JIS C 6101-1 の 4.2.1 参照
		高周波入力信号レベル: 75 Ω 終端で 70 dB (μV) とする。 －39 dB (mW) に相当	JIS C 6101-1 の 3.6.1 参照
	コントラスト, 明るさ調整及び画質調整	工場出荷時の位置に設定	JIS C 6101-1 の 3.6 参照
	自動明るさ調整, 節電機能などの付加機能類	機能をもつ場合は OFF に設定	
	衛星放送波受信アンテナ電源		
	音量調節	1 kHz 音声信号で 50 mW ^{a)} が得られるように設定	JIS C 6101-1 の 4.2.1 参照
設置条件	傾斜角	0 度 (水平)	—
想定時間	1 日の使用時間	4.5 時間	—
	1 年間の使用時間	1 642.5 時間 ＝4.5 時間×365 (日)	

注 ^{a)} 複数の音声出力をもつ場合は、それぞれ 50 mW とする。